

テクノロジー・ロードマップ2018-2027 全産業編 第4章 健康 6.POCT(point of care testing)

各テーマの世界(または日本)における全体の潮流を示す。何が起り、何が起りそうかということについて、各テーマにおける世の中(社会環境)の変化を大きく示す。

全体的な潮流に関連した市場について、特に利用者(ユーザー)が期待するニーズについて示す。市場におけるニーズは期待価値(社会的価値、顧客価値)として整理しまとめる。

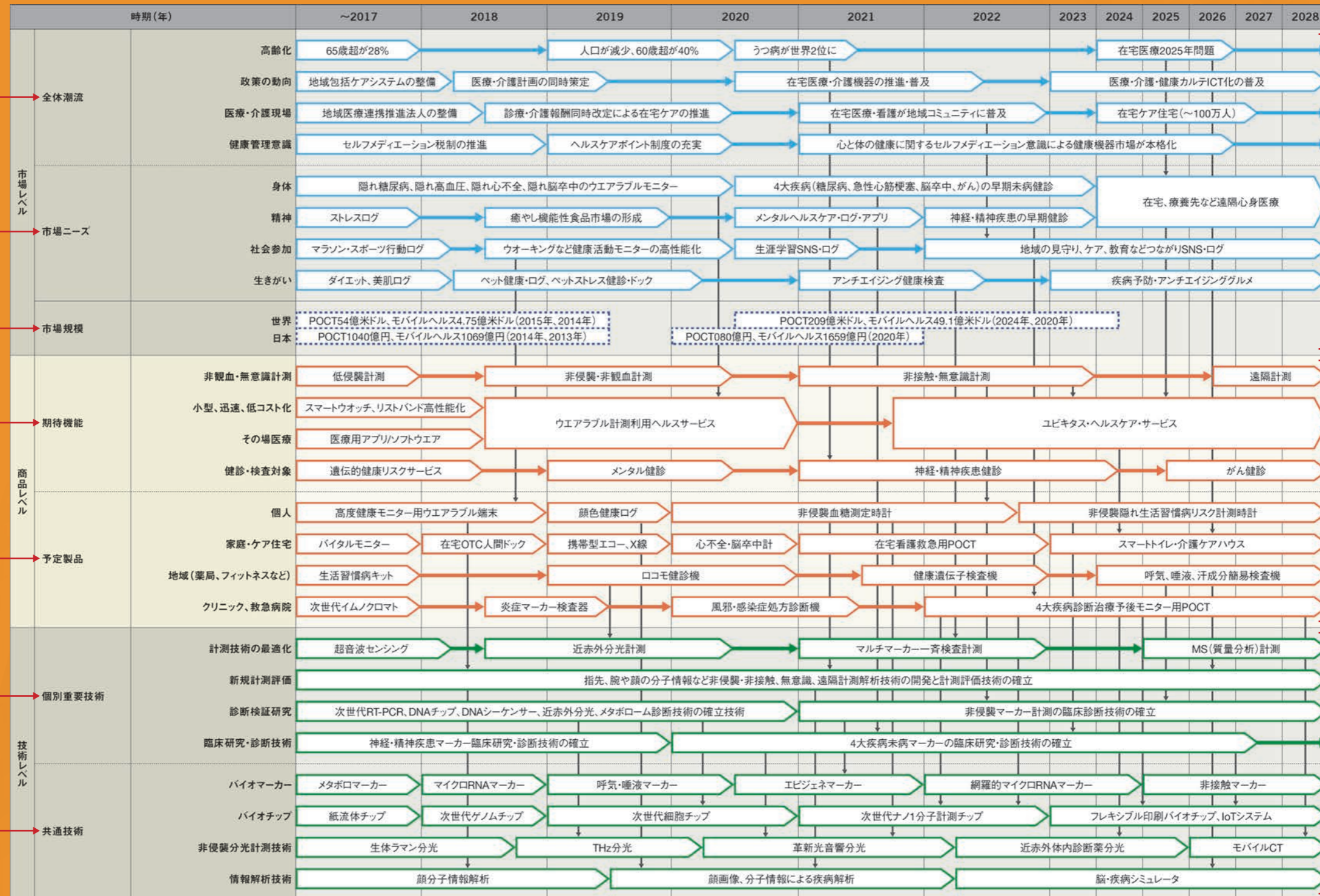
各テーマに関連する商品/サービス群の市場規模を、定量的に示す。一部定量化が難しいものに関しては生産量やシェア見込みなどで代替して規模感を表す。

世の中に流通する商品/サービス群とその顧客価値に関する期待機能の内容を時系列で示す。

期待機能にマッチさせた具体的な商品/サービスとその実現時期を示す。特に新しい商品/サービスの場合には商品化のスタートと量産化時期(実用化時期)を意識したものとなる。

ニーズに沿ったそれぞれの商品/サービスを実現するための個別の重要技術を整理する。商品レベルの内容を実現するための優先順位の高い技術を個別にピックアップし、どのタイミングでどのような技術が必要になるかを時系列で示す。

共通の技術をここで明示する。ここでも優先順位やフェーズの移行はあるはずなので、時系列に沿った変遷を意識する。



2028年までの「市場のすがた」を予測
市場レベルの未来像を明確にする

市場ニーズに合わせた「商品機能」を定義
市場レベルと関連付けて商品レベルを作成

商品機能を実現するための「技術」を提示
商品レベルと関連付けて技術レベルを作成